

西秋留地区 スポーツレクレーション大会 “意義ある大会でした”



ホールインワン・賞品取るぞ！
ボッチャ
地区対抗戦
輪投げ
食材準備
やったー
美味しー！
居場所を求めて

西秋留地区会長会では東京都の地域の底力発展事業助成金・100万円を活用し10月29日に大会を開催しました。台風接近の為、会場を公園から千代里会館に変更しましたが、約500名もの参加者があり大盛況でした。

会場は手狭でしたが、心地良い居場所を見つけてゲーム、地区対抗競技、豚汁・焼き鳥・しるこ・お餅等の食事、旧知との思い出話等、幼児から高齢者まで非常に密度の濃い・意義ある大会になりました。

編集後記 “2年間、ありがとうございました”

西秋留地区会長会 上引田町内会長 石川浩平

“見て、読んでいただく”
2年前、会報について考えたのは、投稿者・編集者の皆さんに満足する物、すなわち読者の喜ぶ会報を楽しみながら共に作りたい。
そのために紙面のカラー化・見て、読んでいただける紙面・タイトルの変更を提案・実践してまいりました。

会報32号では、町内会・自治会の高齢者世帯の退会減少の一助になればと考え、防災関連・高齢者世帯対策・会員の誰でも参加できるイベントをテーマに掲載しました。
今後も会報を見て・読んでください、よろしくお祈りします。

- 会報部会
木下 優
山崎 勇
杉本 秀志
高水 攻
佐藤 富治
宮田 信夫
栗原 伸泰

会報部会長 木下 優

子ども・高齢者・絆を大切に
災害時は公助より近所

絆

あきる野市 町内会・自治会連合会会報 第32号

町内会・自治会

発行/平成30年2月28日 あきる野市町内会・自治会連合会会報 第32号 発行者/中村 勇 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

夜間救出・救護・防災訓練 会員の生命を第一に考えています



夜間防災訓練
防災研修会
炊き出し
給食訓練

12月23日(土)秋留台公園で実施されました夜間防災訓練には、あきる野市82町内会・自治会並びに澤井あきる野市長、子籠市議会議長始め来賓の方々及び秋留台公園・赤十字奉仕団等併せて約400名の参加があり、参加者が各々ヘッドライトを点灯し、また夜間照明サインボード等を用いて、避難訓練・救出救護訓練・給食給水訓練を行いました。

災害は何時発生するかわからないという観点から、初めての試みとして実施され、課題はたくさんあるものの、各方面から一定の評価を得たものと思います。
今後も課題への取り組みを含め、何度か経験を重ねる必要があると考えます。

連合会会長代行 網代和夫

なごみ

迎える春を思うとき、若葉が萌え目のさめるような緑の野山に、目の覚めるような青空があり、身軽な装いで薫風が吹くなか、子供たちの喜びの音が彼方から聞こえる。
こうした自然、風土だけでなく、長い歴史に恵まれたこの地で仲良く、身も心も豊かに暮らしたい。
深刻な災害に見舞われた地域では、近隣住民の助け合いが重要な役割を果たした事例が多くみられます。
あらためて町内会・自治会のあり方が注目されています。
情報化を基盤とする日常生活の利便性の向上は、地域生活面での共同の必要性を低下させています。
世帯(家族)の個人化が進むなかで、町内会・

自治会には、多様な条件を抱える住民個人を対象とした活動を行うことが求められるようになってきました。
長い伝統をもって地域の自治を担ってきた町内会・自治会は、今後いっそう進む少子高齢化の中、多様な課題に対応する組織と活動の見直しを迫られています。人間は、足を置く大地なしでは生きていくことはできません。同じ地域に留まる者の間には、無意識のうちに同士の関係の上に生活が成り立っていると思います。
町内会・自治会連合会は、時代を先取りした運営と安全・安心の街づくりを、会員の皆様、各種団体と協働し目的達成のため活動して参ります。

連合会会長 中村 勇

親子スポーツなわとび交流会

家族の絆を深める楽しいイベントでした。



準備体操

だんべえ汁の試食

今年の2月10日、秋留台公園陸上競技場で親子スポーツなわとび交流会を市コミュニティ事業により連合会主催、あきる野市後援で実施しました。心配された天候も曇り時々晴れと絶好のスポーツ日和に恵まれ、約200名の市内小学生と保護者の皆さんは元気いっぱいになわとびをしていました。実技の後はあきる野市認定B級グルメゴールドグランプリを受賞した「だんべえ汁」に子供たちも口々に美味しいと心も体も温まっているようでした。

当日は熱心なご指導をして頂きましたなわとび講師の成川先生、ラジオ体操クラブ、「だんべえ汁」の調理には赤十字奉仕団、観光協会五日市支部青年部、会場の提供を頂いた秋留台公園、器具を提供して頂いた社会福祉協議会の皆さんにはたいへん感謝申し上げます。ありがとうございました。

活性化部会長 武田博行

「町内会・自治会に加入しましょう」の声をかけを

高齢化対策を考える

“皆様の思いやり・優しさを期待しています”

あきる野市雨間町内会は 会員約1,400世帯を30班(170組)で構成しています。

会員減少傾向に対処するため、今年度の重点施策に町内会への「加入促進」をあげ、アイデアを新旧班長にアンケートで意見を募るとともに、「高齢者の会員継続施策」にも取り組んでいます。

①「加入促進」の対策ポイント

新規転入者への早い時期でのお誘いと近隣者の同行訪問により隣組意識の醸成を深める。

②「高齢化世帯の退会」防止対策のポイント

高齢で役員の当番が出来ない等の理由での退会希望者に対し、本人のご意向尊重の上、当番免除か補佐役を置くなどを提案、画一的指針とせず地域ごとの判断にゆだねる。

③「高齢化世帯の退会者再加入」の対策ポイント

退会会員も町内会諸事業に誘う等の隣組意識の醸成を深め、再加入をはかる。

寄稿段階では結果集約に至っていないが、今年度は減少に歯止め期待大！

雨間町内会 会長 師 清史

若い頃、役員として活躍・貢献して下さった方が「高齢の為役が出来ないので脱会したい」こんな申し出が増えていきます。

会員皆様の思いやり・優しさをもって解決出来たらなーと考えます。これからのテーマですね！

富士見台自治会 会長 石原繪哩子



新宿自治会コミュニティ活動員

新宿自治会は230世帯で構成され、そのうち2割以上が高齢者世帯です。

平成24年には「高齢者世帯の組長の免除」について総会において決議されました。

自治会行事等を、中心となり取組んでいただく組長さんと共に活動していただくため、コミュニティ活動員を募集し、現在42名の皆さんに活躍いただいています。

自治会事業の支援、高齢者等の要支援者の支援、花壇の管理等幅広く活動しています。

現在、コミュニティ活動員の中には80歳以上の方が10数名おり、活動員の高齢化対策に取り組む必要があると思っています。



新宿自治会 会長 野崎 忠

視察研修旅行

災害直後は公助より近所(町内会・自治会)が大切！



平成29年度の町内会・自治会連合会の研修旅行は、平成26年に地震被害のあった長野県白馬村を視察しました。

倒壊家屋も多かった大地震にもかかわらず、奇跡的に死者0名と、後に『白馬の奇跡』と話題になった白馬村堀之内地区の、その時の地区長鎌田さんに、講演をしていただきました。

研修旅行代表幹事

かねてより長野県では、地域での助け合い、支え合いの関係をしておくことが大切と考え地域住民による「災害時住民支え合いマップ」作成に取り組んでいたとのこと

これをベースに、11月の夜10時にM6.7 震度6弱の地震により全壊50棟、半壊91棟の被害に遭いましたが、地域住民の協力により結果的に死者0名になったとお話しされました。

日頃よりの「そなえ」が如何に重要な事か、またその時におしやった「自助」「共助」の次に「近所」と言われ、ご近所とのコミュニケーションの必要性を痛感しました。

2日間とも天候に恵まれ、また多くの会長さん達と、行き帰りのバス中や、食事時に自分達の町内会・自治会の悩みや、楽しい催しのお話も伺う事ができ、大変有意義な研修会でした。

牛沼町内会長 小林次摩朗

産業祭

今年度も連合会のブースを設けました



ステージ活動

広報活動

昨年11月11日・12日に行われたあきる野市産業祭には連合会として今回も参加させていただきました。風船やアメの配布、医療情報キットの展示などを行いました。12日にはイベントステージで三内囃子連や富士見台自治会、小宮町内会の子どもたちによる演技やダンスなどで盛り上がりました。また、各町内会・自治会長さんの合唱で締めくくり活気に満ちたイベントとなりました。

当日は2日間とも天候に恵まれ、多くの皆さんにご来場頂きました。今回は特に人気の風船を増やして、より多くのお子さんに楽しんで頂けたかと思えます。これからもより多くの方に町内会・自治会のことを知って頂き、住んで良かったと思える地域づくりを目指していきます。

活性化部会長 武田博行